

2023年3月22日

小松市

BOLDLY 株式会社

株式会社ティアフォー

アイサンテクノロジー株式会社

損害保険ジャパン株式会社

石川県小松市で自動運転バスの導入に向けた実証実験を実施

～ 北陸新幹線小松駅開業を見据え、JR 小松駅・小松空港間のアクセス向上 ～

石川県小松市（市長：宮橋 勝栄）、BOLDLY 株式会社（ボードリー、本社：東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO：佐治 友基、以下「BOLDLY」）、株式会社ティアフォー（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：武田 一哉、以下「ティアフォー」）、アイサンテクノロジー株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：加藤 淳、以下「アイサンテクノロジー」）および損害保険ジャパン株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：白川 儀一、以下「損保ジャパン」）の5者は、2023年3月2日から3月20日まで、2024年春に予定される北陸新幹線小松駅の開業を見据えて、JR 小松駅と小松空港をつなぐルートにおいて小型自動運転 EV バス（定員：10人）の実証実験を行いました。また、実証実験の最終日となる3月20日に、宮橋市長をはじめとする関係者向けの試乗会を開催するとともに、実証実験の成果を報告しました。



試乗会の様子

1. 実証実験の背景および内容

小松市、BOLDLY、ティアフォー、アイサンテクノロジーおよび損保ジャパンの5者は、北陸新幹線小松駅の開業に合わせてJR小松駅・小松空港間のさらなるアクセス向上を図るため、2022年8月3日に、自動運転バスの定常運行の社会実装を軸とした連携協定を締結しました※1。今回の実証実験では、JR小松駅・小松空港間のルートにおいて、損保ジャパンによる自動運転リスクアセスメント※2やアイサンテクノロジーによる高精度3次元地図データの作成を事前に行った上で（2022年12月）、ティアフォーが開発を主導する自動運転ソフトウェア「Autoware（オートウエア）※3」による自動走行や、BOLDLYが提供する自動運転車両運行管理プラットフォーム「Dispatcher（ディスパッチャー）」を使った遠隔監視を実施しました。自動運転レベル2で1日に4~5便走行し、車内のオペレーターおよび遠隔監視者をBOLDLYとティアフォーの社員が務めました。5者は、今回の実証実験を通して技術検証や課題の洗い出しを行った後、2023年度に予定している小型自動運転EVバスの長期実証に向けて取り組みを進め、2024年度中に小型自動運転EVバスの定常運行実現を目指します。

※1 詳細は、2022年8月3日付の小松市のプレスリリース「石川県小松市における2大交通拠点をつなぐ自動運転バスの導入に向けた連携協定を締結」（<https://www.city.komatsu.lg.jp/material/files/group/22/jidouunteiketsu.pdf>）をご覧ください。

※2 交通環境に関するデータ（過去の交通事故発生状況や信号機、運転速度など）を基に走行ルートの安全性を評価すること。

※3 「Autoware」はThe Autoware Foundationの登録商標です。

2. 実証実験および試乗会の概要

期間：2023年3月2日～20日

走行距離：片道約4.4km

走行速度：最高時速19km

走行ルート：JR小松駅と小松空港をつなぐ公道

使用車両：「GSM8」（国産の車両をベースにした自動運転車両）

・試乗会について

3月20日午後1時30分～午後4時30分に、「サイエンスヒルズこまつひとつものづくり科学館」において実証実験の成果報告会を行った後、「サイエンスヒルズこまつひとつものづくり科学館」と小松空港をつなぐ公道で試乗会を開催しました。



小型 自動運転 EVバス「GSM8」



実証実験の様子

- ※ このプレスリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。
- ※ このプレスリリースに記載されている内容、製品・サービスの価格、仕様、問い合わせ先およびその他の情報は、発表日時点のものです。これらの情報は予告なしに変更される場合があります。